



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2008年10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

第12回日本太鼓全国フェスティバル

～初の北海道開催が実現！～



(フィナーレで手締めをする出演者)

第12回日本太鼓全国フェスティバルを、7月13日(日)、北海道札幌市・札幌市教育文化会館において、800人の観客を前に盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、北海道道央支部が主管となり、文化庁のほか、地元の北海道、北海道教育委員会等の後援をいただき行われました。

当日は、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、北海道で初めての全国フェスティバルに対する期待が伺えました。公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長の挨拶、共催の財団法人札幌市芸術文化財団理事長で札幌市長の上田文雄様と北海道副知事山本邦彦様の祝辞と続き、主管団体を代表して橋本支部長からの挨拶の後、幕を上げました。続いて全国トップレベルの10チームが渾身の演奏を披露しました。以下出演団体をご紹介します。



(北海道連合チーム)

1. 北海道連合チーム…(財)日本太鼓連盟北海道連合会に加盟する団体の会員から選ばれた55名の皆さんが一つとなり演奏されました。その熱演には、会場から大きな拍手が贈られました。
2. 秩父屋台囃子若葉会…毎年12月の始めに埼玉県秩父市で行われる日本三大曳山祭である「秩父夜祭」のお囃子の華やかさを、一足早く北海道の舞台で再現しました。
3. 豊里学園和太鼓鼓粹…大阪府大阪市にある知的障害者の児童福祉施設の利用者と職員の混合チームは、障害を感じない迫力ある太鼓の響きにお客様より心が震えたという賞賛が寄せられました。
4. 太鼓集団天邪鬼…東京を拠点に活動しているチームで、海外でも人気の高いチームの演奏は、舞台にひきつけられるようだったとの声が聞こえるほどの熱演振りでした。
5. 橘太鼓「響座」ジュニア…今年3月に行われた第10回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チームが優勝時の曲を披露しました。大人顔負けの迫力ある演奏に会場から感嘆の声があがりました。
6. 越中いさみ太鼓保存会…北陸地方に伝わる三ツ打ち太鼓を披露しました。笛と地方に合わせて打ち込む曲打ち太鼓の打芸は初めて見る方が多く、魅了されていました。
7. 八丈太鼓六人会…かつて刀を失った流人がそのうっぷんを太鼓のバチに託して打ち鳴らしたもので、独自のリズムで個性的な太鼓の音が八丈島の雰囲気醸し出していました。
8. 豊の国ゆふいん源流太鼓…2007年、由布市の無形文化財に指定されたゆふいん源流太鼓は、速さの極限を追求した締太鼓の演奏と大太鼓を中心とした「荒城の月」を披露しました。
9. 御諏訪太鼓保存会…出演予定であった小口大八宗家が6月に急逝され、悲しみも消えない時期にも関わらず、これからの御諏訪太鼓を支えるメンバーでの熱演でした。

10. 気仙町けんか七夕保存会…岩手県陸前高田市に伝わるけんか七夕太鼓は、岩手県無形文化財に指定されている山車七夕祭りを舞台上で再現して北海道の皆さんに披露していただきました。

最後は、出演者全員が舞台上がり、お客様とともに手締めで締めくくりとなり、初めて北海道で開催したフェスティバルは盛況裡の内に終了しました。

地元チームによるロビーでの送り太鼓は、公演の延長線上にあったようで、見入る人が多くなり、警備の都合上、途中で演奏を取り止めるほどの人気でした。会場をあとにするお客様からは「全国の太鼓を北海道に居ながら見ることができて嬉しかった。」「一口に和太鼓といってもこんなに色々な太鼓があるとは知らなかった。」などといった声が聞かれ、フェスティバルの成功を物語っていました。今まで北海道以外の太鼓を聞く機会がなかった多くのお客様にも楽しんで頂くことが出来たようです。

初めての北海道で行ったフェスティバルが盛況の内に無事終了することができましたのも、道央支部を中心とする北海道各支部の役員と会員の皆様、そして出演団体をはじめとする関係各位のお陰と心より感謝いたします。



(八丈太鼓六人会)



(気仙町けんか七夕保存会)

第13回大会は大分県別府市で開催予定

第13回大会は、2009年9月6日(日)に大分県のB-CON PLAZAにおいて開催を予定しております。詳細は財団事務局までお問い合わせ下さい。

*北海道道央支部の橋本光司支部長より、今フェスティバルについてご寄稿頂きました。

第12回日本太鼓全国フェスティバルを終えて (財)日本太鼓連盟北海道連合会 会長 (財)日本太鼓連盟北海道道央支部 支部長 橋本 光司

2008年7月。北海道は短い夏を惜しむかのように各地でさまざまな祭り、イベントが一斉に繰り広げられます。よさこいソーランまつりを皮切りに、今年はサミットの開催地ともなり、北の大地全体が躍動感に満ちあふれていました。踊りが主役のよさこいも和太鼓を取り入れるチームが年々数を増し、サミットでは2千人太鼓で歓迎。厳戒警備態勢も解かれ、いつもの街の風景が戻った7月13日、札幌市教育文化会館大ホールにて、参加団体10チームによる第12回日本太鼓全国フェスティバルが開催されました。文字通り、全国のチームが一堂に会することは、北海道初のことで、道外のチームの演奏を肌で感じようと800人の和太鼓ファンが客席を埋めました。北海道連合会、道央支部とともに設立間もない内に、主管という大役を仰せ付かり、光栄に思うと同時に歴史と実力ある本州、九州のチームの皆さんをお迎えするという重圧も半端なものではありませんでした。不慣れな中、財団の事務局と連絡を取りながら準備を進め、全チームが揃った前日の夕食会では塩見理事長にもご臨席いただき、遠路お越しいただいたことへの感謝と真に采は投げられたり、身の引き締まる思いが致しました。今回のフェスティバルには御諏訪太鼓宗家の小口大八先生もその勇姿をご披露下さる予定でした。しかしながら不慮の事故により、叶わぬこととなってしまいました。理事長のご挨拶にもありましたように追悼の意味もこめ、どのチームも全力でバチを振り、その素晴らしい打芸で観客を魅了しました。滞りのない進行で、明るい日差しの下出演の皆様をお見送りできたことに安堵致しました。この度のフェスティバルは、(財)日本太鼓連盟の事業の意義をより理解し、北海道の太鼓界に良い刺激をいただいた、またとない機会であったと思っております。愚生の支部長在任中に当地にて開催させていただいたことを大変な名誉と思ひ、今後も微力ながら後継者の育成と日本太鼓の普及、振興に努めてまいりたいと思っております。

あらためまして、開催にあたりお力添えいただいた関係各位様、準備から当日まで陰ながら奔走していただいたスタッフの皆様にご心より感謝、御礼申し上げます。フェスティバル開催のご報告とさせていただきます。

*今回、初めて日本太鼓全国フェスティバルに出演しました「豊里学園和太鼓鼓粋」の皆様からお礼のお手紙をいただきました。一部ご紹介致します。

石川 めぐみ

わたしはたいこにはいってしゅつえんをして、たのしかった。

プロのひとのたいこをきいてかんどうしました。なきそうになりました。プロのリハーサルをみてかなしくなりました。うまかった。おかせんせいおしえてくれてありがとう。



原田 春菜

北海道にいつてきて、あゆちゃんといっしょにやってよかったです。

ほんばんになってからちよっときんちょうしたけれど、おきやくさんにおおきなはくしゅをもらいました。けれどきんちょうしてまちがえそうになりました。またやりたいです。



北海道道北で支部講習会を開催



(会場の様子)

＜第40回日本太鼓支部講習会(道北)＞

9月20・21日(土日)、北海道道北支部主催による支部講習会を、永山市民交流センターにて実施いたしました。地元旭川をはじめ北海道各地から、62名が参加しました。開会式では、稲垣支部長より激励の挨拶があり、2日間の講習会がスタートしました。もう秋がそこまできていいる道北で、受講生たちは一生懸命バチを振っていました。

○基本講座 講師

総合指導・3級基本講座 古屋 邦夫氏
4級基本講座 渡辺 洋一氏
5級基本講座 橋本 光司氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定	14名受験	12名合格
4級検定	18名受験	18名合格
5級検定	26名受験	26名合格

日本太鼓が関係団体に協力

9月5日(金)東京都・船の科学館において、水心会が親睦を目的に毎年開催している夏祭りが行われました。水心会は、当財団が助成を受けている日本財団や日本モーターボート競走会などの関連団体から構成されています。今年は天気にも恵まれ、野外でゲートボールの決勝戦などが行われ、会場は大賑わいでした。また、今年も当財団に要請があり、太鼓チームが出演しました。東京都支部より「邦楽アカデミー和太鼓大元組」が、本館前広場と会場内メインステージで計2回の演奏をし、夏祭りを大いに盛り上げました。さらに、昨年、日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」も昨年に引き続き演奏を披露し、真剣なまなざしで太鼓をたたく7人の勇姿に参加者の方から盛大な拍手が送られました。仕事を離れた仲間たちの勇姿に会場は大盛り上がりでした。関連団体を代表してご挨拶された梶田功B&G財団会長のお言葉の中で2年目の成長した和太鼓水心会をご紹介頂きました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組)



(和太鼓水心会)

ブラジル太鼓公演感想文紹介



(1,000人太鼓の演奏)

ブラジル移民100周年記念式典に参加して…

太鼓集団天邪鬼 代表 渡辺 洋一

今回、2004年から5年に渡りブラジル太鼓界に携わってきた集大成として、千人太鼓の構成と指導を手掛けることができた事は、私にとって大変意義のある事でした。何か深い縁があったからだと感じずにはられません。自分の意識よりも大きな力が働いて自然に導かれたというのが実感です。サンパウロにある巨大なサンバスタンドで、小口先生と私の合作曲「絆」を教え子達が演奏してくれた時、私は全身が奮える程の感動に包まれました。サンバ会場全体にスタンディングオベーションが広がり…私は色々な人々に支えられて、太鼓奏者として、一人の人間として成長させて頂いているのだと小さな悟りを得ました。これからも微力ではございますが、私は出来る限りの努力をし、和太鼓を通じて国際貢献をしていきたいと思っております。

関係者各位の方々、そしてブラジルにいる若い太鼓打ちの皆さん、感動をありがとうございました。

大和の魂

小川 ひろみ

「よろしくお願ひしますっ!!!」

ブラジルサンパウロ市、3万人の観衆が見守るアニエンビー サンバ会場に1,000人を超す日系ブラジル人の子供たちの元気な声が響き渡る。合図と共に一糸乱れぬ太鼓の音が轟いた。

御諏訪太鼓宗家 小口大八氏と天邪鬼 渡辺洋一の合作曲「絆」である。

この日のサンパウロは降ったり止んだりの雨。あいにくの天気をもとめず、5年に渡りブラジル各地で練習されてきた曲が見事に演奏された。

6分間の演奏を終えた瞬間、観客席から大きなどよめきと拍手喝采が湧き上がる。

見渡す限りの観衆が立ち上がり、惜しめない拍手の嵐。

「ありがとうございましたっ!!!」清しい挨拶を

残し、退場してゆく演奏者たち。

思えば私が最初にブラジルの太鼓を見たのは5年前のことだった。

和太鼓を使いながらも、どこか“サンバ音楽”を感じさせる演奏に、首をかしげてしまったものだったが、今日の演奏は全く違っていた。演奏も演奏者たちの心も、限りなく日本の魂を宿していた。

彼らの5年間に渡る研鑽の結果だ。

ご観覧されていた皇太子殿下も満面の笑みを浮かべ、拍手をされていた。

この様子を100年前に希望を胸にブラジルに渡った日本人が見たら、涙を浮かべ喜んだだろう。

“私たちの祖国の魂が、100年経っても受け継がれている…”と。

ブラジル移民100周年記念の和太鼓演奏を観覧し、ホテルに戻り私は改めて考え込んでしまった。

この感動的な一瞬に立ち会えた私たちに、これから何ができるのだろうか。

その答えはブラジルを発つ日に見つかった。

1,000人太鼓演奏に先立ち、私たち天邪鬼の公演を行ったが、それを見ていたブラジル太鼓のメンバーが見送りにきてくれた。

「私はあなたのファンです。これからはあなたの太鼓をお手本にがんばります。」

いや、頑張らなくてはいけないのは私たちの方だ。あれだけの立派な演奏をし、もっともっと太鼓を上手になりたいと思う真摯な姿勢の若者に、手本となるような大和魂のこもった演奏をしていかなければいけないのは私たちの方だ。襟を正し、改めて日本の誇れる音楽、和太鼓を精進することが今の私にできることだと気づかされた。

このような後世に残る一瞬に立ち会えたこと、これからの自分の太鼓人生に必要なものを気づかせていただいたことを深く感謝しています。



(100周年記念事業として行われた天邪鬼公演)

* 太鼓集団天邪鬼は帰国後の8月13・14日ブラジル凱旋公演「絆」と銘打った公演を東京で行い、記念曲の「絆」を演奏されました。

* JICAよりシニアボランティアとして申間くる
み太鼓(宮崎県)の蓑輪敏泰氏が昨年の8月より
ブラジルへ派遣され1,000人太鼓の指導にあたって
くださいました。

一糸乱れぬド迫力の千人太鼓 蓑輪 敏泰

ブラジルのニッケイ新聞(日本語版)は、上記タイ
トルのように称え、写真入で報じた。

小口大八先生、渡辺洋一先生の合作曲『絆』の演奏
は1,200人の人々によって演奏され、入退場、演奏
ともに今までの練習では見たことのない完璧に近い
ものだった。私が着任した時は、打ち手は足りない、
太鼓は足りない。「これで千人太鼓ができるのか？」
という私の不安をブラジル太鼓協会の事務員は「先
生、この国は最後には何とかなるんですよ。」と笑っ
ていたが、本当にやってくれた。それも、6月21
日皇太子殿下の面前の公式行事で…。なんとという恐
ろしい？素晴らしい？国民性だ！！しかし、この裏
には(財)日本太鼓連盟の支援(足袋の支給、曲の提
供、塩見理事長をはじめ11名の訪問団の声援)なし
では大成功はなかったと思う。また、10日前に発
注した1,200枚の法被が演奏1時間前に出来上がる
という離れ業を成し遂げた縫製業者には頭が下がる。

演奏後に全員を集めて「120点の評価をあげます。
しかし、これは陰で支えてくれた人の苦労を忘れて
はいけません。」と話す、涙を流す子もおり、私自

身もらい涙した場面もあった。最後に全員で、支え
てくださった皆様に感謝の意を込めての挨拶、『あ
りがとうございました』の声は、その後の花火より
も大きく、サンバ会場に響き渡った。

これからのブラジル日系社会・ブラジル太鼓は、
これらの若者たちが盛り上げていくことだろう。



(各チームリーダーを指導する蓑輪先生：向って右側)

<派遣メンバー>

太鼓集団天邪鬼：渡辺 洋一(代表)
小川 ひろみ、川名 真由美、影山 伊作、渡辺 大介
小川 三千代、関根 弘美
(財)日本太鼓連盟：塩見 和子(理事長)
中西 由郎(常務理事)、大澤 和彦(事務局長)
成瀬 靖子(事務局)

全国障害者大会出場チーム決定！！

10月5日(日)に第10回大会を記念して東京の文京シビックホール(東京都文京区)にて日本太鼓全国障害者
大会が開催されます。出演団体は26チームで過去最多となります。

期日：2008年10月5日(日) 12:30 開場 13:00 開演 17:30 終了予定

会場：文京シビック大ホール(東京都文京区春日1-16-21) 地下鉄後樂園駅、春日駅下車徒歩3分

入場：無料

出演される団体は次の通りです。

- 1 富岳太鼓 竜神組(静岡)
- 2 桐親会 和太鼓クラブ(東京)
- 3 甲州ろうあ太鼓(山梨)
- 4 豊里学園 和太鼓 鼓粹(大阪)
- 5 伊豆医療福祉センター「どんつく」(静岡)
- 6 鼓友 夢光組(富山)
- 7 あそかの園 同朋太鼓(山口)
- 8 糸口太鼓(大分)
- 9 和太鼓ちんどん(長野)
- 10 北龍太鼓(静岡)
- 11 すみれ太鼓(長野)
- 12 のぞみ太鼓(北海道)
- 13 静岡ハンディキャップ太鼓の会(静岡)
- 14 東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」(東京)
- 15 南陽園ふれあい和太鼓(石川)
- 16 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」(愛媛)
- 17 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡)
- 18 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会(新潟)
- 19 ファミリーユニット童鼓(岐阜)
- 20 しらとり太鼓(茨城)
- 21 やまびこ太鼓(福島)
- 22 諏訪響太鼓(長野)
- 23 一(いず)太鼓(福島)
- 24 播州ろう者龍姫太鼓集団「鼓鼓呂」(兵庫)
- 25 仁寿太鼓(島根)
- 26 恵那のまつり太鼓(岐阜)

(出演順)

*当財団の助成金事業の「北響祭'08」が開催され、実行委員長である北海道道南支部 太田支部長よりご寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

北海道洞爺湖サミット歓迎和太鼓合同演奏「北響祭'08」開催される

北海道洞爺湖サミット(7月7日～9日)の開催に向けて前日の6日、道内の和太鼓奏者による歓迎イベント「北響祭'08」が全道9ヶ所で同時開催された。

これは、各国の閣僚をはじめ関係者を日本の伝統芸能である和太鼓で歓迎しようと地元北海道道南支部(支部長太田義高)が1年前から呼びかけて取組んできたものである。

サミット前日ということもあり洞爺湖町には入れないことから室蘭をメイン会場として函館・小樽・札幌・岩見沢・旭川・北見・釧路・三石で開催された。

このイベントには(財)日本太鼓連盟北海道連合会(道東・道南・道西・道北・道央)の各支部長が一致団結し連盟以外の近隣チームにも声をかけ各地を取りまとめた。

道内ではテロ活動が懸念され、開催地の決定が遅れたこともあり当初予定していた3,000名にはとどかなかったが、約2,000名が北海道という北の大地をステージとして素晴らしい演奏を披露し、北海道全域にサミット歓迎ムードを盛り上げた。

今回の演奏会は和太鼓界では世界でも初めてと思われる光回線を利用しメイン会場では各地とリアルタイムで連携をとり15:00一斉に合同曲「山彦」を打ち鳴らし、メイン会場の映像は各地へ流された。

この模様は、当日と翌日の二日に渡りNHK(全国版)にも放映されたが、各地の合同演奏の様子はサミット当日からインフォメーションセンター(洞爺湖)で放映され各国報道陣の度肝を抜き、用意した500枚のDVDは瞬く間に無くなった。

今回のイベントには多くの子ども達も参加しているが、北海道では二度と行われまいであろうサミットに和太鼓を通じて参加できたことは素晴らしい思い出になった。

また、演奏者とスタッフには各地区の実行委員長(9名)から認定書が、そして高橋はるみ知事からは感謝状がおくられた。今回のサミット歓迎太鼓を機に北海道連合会としても和太鼓を通じて青少年の健全育成と社会貢献活動を進めていきたい。



(「山彦」の演奏)

2000
人息びったり
歓迎の和太鼓鳴り響く
室蘭などで
北響祭



「山彦」を迫力いっぱい合同演奏する太鼓衆約150人
—6日午後3時すぎ、室蘭港中央ふ頭倉庫

(室蘭民報 2008.7.7 掲載記事より)

「知的障害者が描くピュア・アート・コレクション」開催

9月1日(月)～5日(金)、東京都港区日本財団ビル1階で「社会福祉法人富岳会 知的障害者が描くピュア・アート・コレクション」が開催されました。静岡県御殿場市にある富岳会を利用する知的障害者の個性あふれる伸び伸びとした絵を多くの方に観賞していただきました。絵画を出版された方の中には、富岳会太鼓チームで太鼓を打っている人もおります。このように、太鼓療育と絵画療育が障害者の自信と自立心を高める手助けになっています。



(会場の様子)

第23回理事会を開催

第23回理事会が7月29日(火)に開催され、次の事項が審議された。

1. 「小口大八副会長の財団葬」について

6月27日に事故のため急逝された小口大八副会長の葬儀を財団、長野県支部、御諏訪太鼓保存会、小口家の合同葬として実施したい旨を諮り、全員異議無く承認された。

2. 「副会長の選任」について

小口大八副会長のご逝去に伴い、新たに浅野義幸氏と長谷川義氏を副会長に選任し、池田庄作副会長と併せて3人体制となった。

*新副会長の両氏に抱負を寄稿していただきました。

浅野 義幸副会長



このたび副会長に就任しました浅野義幸です。一言ご挨拶を申し上げます。

当連盟が法人化される前、全日本太鼓連盟(笹川良一会長)結成に向け尽力された諸先輩方の後ろ姿を見てきました。現在の日本太鼓の興隆は、そうした方々のご苦勞抜きにはあり得ないのではないかと考えています。

こうした経緯を知る私としては、微力ながらも今後とも精一杯力を尽くす所存です。

当連盟の事業をより充実させ、さらに発展させていくことこそ私たちの責務であると決意を新たにしています。またこれが故人の遺志を受け継いでいくものと考えています。さらなるお力添え、よろしく願いいたします。

長谷川 義副会長



このたび、(財)日本太鼓連盟の副会長に就任致しました長谷川でございます。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

(財)日本太鼓連盟は1997年の設立から会員の皆さんと共に発展してまいりました。そして、これからも皆様のご指導・ご協力なくしてはありえません。

私も突然の副会長就任に戸惑い、無知故無礼なことがあるかもしれませんが、小口大八先生の精神に少しでも近づけるよう先生のご意志を心に刻み、日本太鼓の普及・発展のために全力で挑む所存でございます。

会長をはじめとする関係者各位の皆様と会員の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申しあげ、就任の挨拶とさせていただきます。

新たに1級公認指導員が誕生！



河合 睦夫氏
(越中いさみ太鼓)



蓑輪 敏泰氏
(串間くるみ太鼓)



吉岡 賢次氏
(豊岡こうのとり太鼓)

7月4日に開催された技術委員会で検討した結果、左記3名の方々が1級公認指導員に認定されました。昇級された方々、おめでとうございます。これで1級公認指導員は40名となりました。

当財団では今後も指導者育成を図るための「公認指導員(1級～3級)」及び太鼓の演奏技術の向上を目的とした「技術認定員(1級～5級)」の育成に努めていく所存です。

講習会への皆様のご参加をお待ちしております。

日本太鼓助成金交付事業の来年度分を募集

2009年度の助成金交付事業募集の締め切りは、12月26日(金)迄となっております。

1事業助成金20万円となっております。詳細は、財団事務局までお問合せ下さい。

(財)日本太鼓連盟 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580 E-mail: info@nippon-taiko.or.jp

事務局だより

日本太鼓シニアコンクールのお知らせ

第5回日本太鼓シニアコンクール(石川県七尾市)

期 日：2008年11月23日(日)
場 所：七尾市和倉温泉観光会館
(石川県七尾市和倉町2-13-1)
主 催：(財)日本太鼓連盟
(社)石川県太鼓連盟
主 管：(財)日本太鼓連盟石川県支部
出場資格：①個人打ち 打ち手は60歳以上
但し、リズム奏者1名(60歳以下でも可)の共演は良い。

②団体打ち 打ち手は、全員60歳以上

演奏時間：3分から5分程度

費 用：全費用は出場者の自己負担とする。

表 彰：名人位、準名人、特別賞、優秀賞など

申 込：(社)石川県太鼓連盟事務局

事務局長 北村 吉則

〒920-3121 石川県金沢市大場町東57

Fax. 076-258-0265

メール：ishikawa-taiko@p2223.nsk.ne.jp

* 郵便、Fax、メールでお申込み下さい。

全国講習会のお知らせ

第33回日本太鼓全国講習会(長野県安曇野市)

期 日：2008年11月8・9日(土日)
会 場：安曇野市堀金総合体育館
(長野県安曇野市堀金烏川2662)

講 座：

専門講座

尾張新次郎太鼓講座(複式単打法) 安井 富氏

八丈太鼓講座 (単式複打法) 菊池 修氏

締太鼓講座 (単式単打法) 渡辺 洋一氏

基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

申 込：(財)日本太鼓連盟長野県支部事務局

支部長 古屋 邦夫

事務局長 松枝 明美

〒394-0004 長野県岡谷市神明町2-5-16

Tel. 0266-23-6146 Fax. 0266-23-8832

埼玉県支部講習会のお知らせ

第41回日本太鼓支部講習会(埼玉)

期 日：2008年10月25・26日(土日)

会 場：ヌエック(国立女性教育会館)

(埼玉県比企郡嵐山町菅谷728)

基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

4級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

5級基本講座 渡辺 洋一氏(1級公認指導員)

申 込：(財)日本太鼓連盟埼玉県支部事務局

副支部長 嶋田 淨

〒355-0213 埼玉県比企郡嵐山町川島2281-5

Tel./Fax. 0493-62-6151 (自宅)

又はFax. 0493-62-8436 (会社)

携帯電話 090-3040-7199

三重県支部講習会のお知らせ

第42回日本太鼓支部講習会(三重)

期 日：2008年11月15・16日(土日)

会 場：ロワジールホテル四日市

(三重県四日市市西新地7番3号)

基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座 渡辺 洋一氏(1級公認指導員)

申 込：(財)日本太鼓連盟三重県支部事務局

事務局長 佐藤 司

〒510-0085 三重県四日市市諏訪町3-13

Tel. 059-354-5537 Fax. 059-351-2695

携帯電話 090-3382-7950

徳島県支部

中西 渉 支部長 (鴨島鳳翔太鼓振興会代表)

私どもの師でもあります、香川県支部支部長 石井 修三先生より岡山県・香川県支部の(財)日本太鼓連盟支部設立に伴い、徳島県も参加しないかとのお話をいただき、右も左もわからない私達ですが、石井先生、連盟事務局の方々のアドバイスを受けながら準備を整え、昨年度行われました国民文化祭「和太鼓フェスティバル」参加チームに話をしたところ快諾をもらい、遅ればせながら、6月13日の理事会で承認していただき、徳島県支部の設立にいたりしました。

平成20年、徳島県の和太鼓文化は(財)日本太鼓連盟支部設立に伴い大きな節目を迎えたと思っております。皆様の仲間に入れていただくことにより外に目を向け、支部一同、気持ちを新たに和太鼓文化の発展に全力を尽くしてまいりたいと決意しておりますので、これからも末永くお引き立ていただきますようお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<加盟団体5チーム・会員数73名>

鴨島鳳翔太鼓振興会、上板風神太鼓、日和佐太鼓創作会、小松島市創作太鼓振興会
羽ノ浦保育士太鼓グループ「どんど鼓」

<事務局> 事務局長 深見 善広 Tel. 0883-22-0355

